

令和2年 3月16日(月) No.446

からだを鍛え 心を磨く いつも仲間とともに 夢のある学校



里中だより

川口市立里中学校

川口市里621番地

TEL 048-282-5708

さわやか相談室 284-1010

1年213名 2年176名 3年179名

<http://www.sato-chu.com/>

楽しいことを見つけよう

校長 高田 晶子

やわらかな春の日差しと桜の開花を待つ頼りが届きながら、時は流れ、臨時休業中の校内はとても静まり返っています。そのような中ではありますが、3月13日には、第42回卒業証書授与式を卒業生と教職員で執り進め、義務教育最後の姿を保護者の皆様には玄關にてお迎えいただき、無事修了いたしました。卒業した第42期生179名は、素晴らしい姿勢で式に臨んでおり、呼名の返事は3年間の成長を感じさせるものでした。多くの職員が目には涙を浮かべ、その成長した姿に精一杯の拍手で式場を見送りました。社会に一步を踏み出していく姿に逞しさを感じております。進級する43・44期生に数々の功績を遺してくれた42期生です。後輩たちが里中学校をしっかりと引き継いでいけるよう、この休業中に準備をしていきたいと思ひます。

さて、「やろうと思うが続かない」という経験をしている人は多いのではないのでしょうか。この続かない原因に多いのが、義務で行っているから、ということだそうです。人は楽しいと思つたことは続けられるというのです。中学生の勉強も楽しいですという生徒はもちろんいますし、そういう子は、自分の計画を着々と進めていきます。ですが勉強は嫌いですという生徒も多くいるのは確かです。運動や趣味についても同じことが言えるでしょう。

では、どのようにしたら楽しいことを見つけられるかです。人は、やりたいことのためには頑張ることができるという力を持っています。この楽しいと思うことを見つけるために、色々な体験が大事になってきます。学校の教育課程では、得意不得意、好き嫌いの見方ではなく、色々なことを経験する時間を過ごせるように計画されています。「この間はつまらないと思つたが、もう一度やってみたら楽しかった」とか、「初めてだけど、やってみると楽しかった」など、経験を通して次につながる人が多いのです。この経験を大いに生かしていけるよう、中学生は、臨時休業中に4月からの目標や、やりたいことを考えておいてほしいと思ひます。保護者、ご家族の皆様は、こんなこともできるのでは、と助言をしてあげてほしいと思ひます。また、地域の皆様は、子どもたちを見かけたとき温かい眼差しで見守っていただければ幸いです。

本当に楽しいことを見つかり、キツイ場面も乗り越えられ、上手になり、更に楽しくなつていきます。何事も「楽しい」時間になり、習慣となり継続していけるようになるのです。まだ、楽しいことを見つからない人は、この春にスタートできるよう見つけてみましょう。

新年度に向け、保護者の皆様には緊急メールやHPにてのご連絡が増えるかと思ひますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。令和2年度の里中学校のスタートが在校生、教職員、保護者、地域の皆様と笑顔でスタートができる日が早く来ることを願っています。